

飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」(案) に対するパブリックコメントの実施結果について

**飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」(案)  
市民意見募集 (パブリックコメント) の結果と市の考え方・対応**

案 件 名	飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」(案)		
募 集 期 間	令和7(2025)年3月6日(木)～令和7(2025)年4月4日(金)		
意見の提出	4件(3名)		
市の考え方・ 対応	修 正	素案を修正するもの	2件
	参 考	今後の取組の参考とするものや、ご意見として伺うもの	2件

飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」(案) に対するパブリックコメントの実施結果について

実施期間：令和7(2025)年3月6日(木)から4月4日(金)まで

提出者：3名 意見数：4件

提出されたご意見の内容と市の考え(回答)

No.	提出されたご意見	市の考え(回答)	計画(案)の修正
1	<p>日常生活上、光熱費をいかに減らすか？                  そのためには住宅の断熱向上(床断熱・壁断熱・窓断熱等)があります。                  その中でコスト、施工の簡便さから窓断熱から優先的に進めることがベストの考え方とっております。                  しかし、それでも床面積150㎡クラスでも全部の窓を施工しようとすると160万円ほどかかると想定されております。                  普段の居室から無理なく進めることが、生活者にとっていいことと思います。                  飯山市には内山紙、畳文化という断熱性のあるものもあります。                  又最近ではPC中空パネル※を使用して2重窓を簡便に制作することも出来ます。                  自然環境に負けない生活手段、いいアイデアを推進し、過疎化にストップをと願っております。</p> <p>※ポリカーボネート樹脂中空パネル。2枚のパネルを合わせた構造で、パネル間の空気層による断熱効果が高いとされる。</p>	<p>住宅の断熱性能を高めエネルギー使用量の低減を図ることは、地球温暖化の原因となる温室効果ガス削減の観点から重要な取組と考えますが、広範囲の一括施工には相応の投資が必要となりますので、施工に当たっては、断熱窓への改修を促進する国の支援事業「先進的窓リノベ事業」の活用を広く周知しているところです。</p> <p>なお、御提案にある飯山市特有の地域文化を活かした断熱化や、創意工夫を重ねた簡便な手法を用いることは、地球温暖化対策への着実な一歩に繋がるものと考えます。</p> <p>御提案の取組を参考にさせていただきながら、地球温暖化対策を講じて参りたいと考えます。</p>	<p>P42「基本施策2」の具体的な取組③「自ら行う断熱対策の推進」及びP43の③「自分でできる断熱対策の推進」で断熱材による手法の情報発信を記載しているため修正なし</p>
2	<p>LPガスには、カーボンオフセットLPガスがあり、(カーボンオフセットLPガスとは、LPガスの採掘～燃焼工程で発生する温室効果ガスを世界各国での環境保全プロジェクトによって創出されたCO2クレジットで相殺(カーボン・オフセット)し、LPガス使用によるCO2排出を実質ゼロにすることができるLPガス。(参考：LPガス事業における地球温暖化対策の取組・経済産業省8P))現在使用しているLPガスを、カーボンオフセットLPガスに変える事で、容易にCO2排出量を実質ゼロにすることが可能であり、灯油を消費している機器をLPガス機器に更新することでCO2排出量を実質ゼロにすることも可能です。</p> <p>LPガスをカーボンオフセットLPガスにすることで、CO2削減ができることを認知して頂けると幸いです。</p>	<p>温室効果ガス排出量の削減を図る上では、エネルギー転換は実に効果的な取組ですが、導入するエネルギーには多種多様なものが存在しますが、御提案のカーボンオフセットLPガスについては審議会では検討して参りませんでした。</p> <p>省エネ化・エネルギー転換の項目で、P20の⑥でLPガスに触れていますので、加筆修正させていただき、引き続き知見の集積に努め、実効性のあるエネルギー転換の研究を進めて参りたいと考えます。</p>	<p>P20の⑥に一部加筆</p>

飯山市地球温暖化対策地方公共団体実行計画「区域施策編」(案) に対するパブリックコメントの実施結果について

No.	提出されたご意見	市の考え(回答)	計画(案)の修正
3	<p>P5(表2-2-1)、P10(図2-10)2022と2019のデータ(家庭)消費量(P5)と消費割合(P10)では混乱する。CO2排出量で統一してはどうか。</p> <p>CO2排出量なら電気約38%、灯油約61%(P5表2-2-1)ですね。</p>	<p>P5の表2-2-1は飯山市の1世帯当たりのエネルギー消費量および二酸化炭素排出量(年間)を表したものです。エネルギー消費量はアンケートで把握した数値を、単位を揃えずそのまま用いているため、消費割合ではなくCO2排出量の割合を示しています。</p> <p>一方、P10の図2-9は「エネルギー種別消費量」を、図2-10は「部門別エネルギー種別消費割合」を表そうとしたものですが、ご指摘の図2-10よりも、図2-9は「消費量」としながら「消費割合」を表したものとなっています。</p> <p>このため、P10の文章の表現と図2-9について一部修正をさせていただきます。</p>	<p>P10の文章の表現及び図2-9を修正</p>
4	<p>原発にたよれば再生可能エネルギーへの移行を妨げるおそれ</p> <p>非化石証書付電力は「再生可能エネルギーと原子力によって作られたエネルギー」のこと。</p> <p>「原子力発電による電力は使わないよ!」という選択はできないのですね。</p> <p>原子力は「CO2削減」の課題とは別に環境に重大な危険性や負担を及ぼすCO2問題に匹敵あるいはそれ以上に危険なものです。</p> <p>原発から50~60kmに位置する飯山市の姿勢が問われているように思います。</p> <p>※原子力は発電時にCO2は出さないとされていますが、発電に伴う様々な機能(補助ボイラー等)は化石燃料を利用しているため、CO2を排出するので、火力発電よりは少ないが、再生可能エネルギーよりはずっとCO2を排出する。</p>	<p>非化石証書付電力は、非化石電源で発電されたCO2を排出しない電力で、ご意見のとおり原子力発電によるものも含まれます。</p> <p>また、原子力発電による電力は使わないという選択につきましては、電気の発電方法には水力発電や火力発電等もありますが、各電力会社がそれぞれの方法により発電した電気は、全て混ざった状態で送電されるため、発電の種類によって使う電気を選ぶことはできないようです。</p> <p>なお、原子力は環境に重大な危険性等を及ぼすとのことですが、当市は原発から半径50km圏内に市域北部が含まれ、市民の安心・安全な生活環境を確保する観点からは、現在休止している原発の再稼働は容認できないものとしています。</p>	<p>修正なし</p>